

2016年1月18日

京都府知事
山田 啓二 様

米軍専用レーダー基地の撤去を求める京都府民の会

(略称：米軍基地いらない京都府民の会)

連絡先：京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラポール京都 5 階
京都総評内 京都憲法共同センター気付
電話 075-801-2308 FAX075-812-4149

代表委員 共同代表

米軍基地建設反対丹後連絡会代表	岩崎 晃
京都総評議長	梶川 憲
京都平和委員会会長	岡田 英樹
京都自治労連委員長	池田 豊
新婦人京都府本部会長	森下 総子
自由法曹団京都支部幹事長	中村 和雄
安保破棄京都実行委員会代表委員・京教組委員長	河口 隆洋
京都府商工団体連合会会長	久保田憲一
京都民主医療機関連合会会長	尾崎 望

事務局長 京都平和委員会事務局長

片岡 明

京丹後経ヶ岬米軍基地についての要請書

日ごろのご活躍に敬意を表します。

さて、一昨年12月26日から米軍基地の本格運用が開始され1年以上が経過しました。本格運用後、交通事故・違反、軍属の住居、基地の看板など、さまざまな問題が起き、住民からも問題が指摘されてきました。

防衛省・防衛大臣が、貴職や京丹後市長に約束した住民の安全安心がおろそかにされている事実は変わっていません。貴職は、住民の安全安心が保障されない場合は基地の「撤回もありうる」とされてきました。まさに、そうした強い態度で対応していただくことが求められています。

私どもは戦争法成立のもとで危険性を増した米軍基地の撤去を求めています。貴職に対しては、この間の経緯をふまえて、住民の安全安心に関して、防衛省、米軍に対して当初の約束を果たすよう強く求めていることを要請します。

記

- 1、安全安心対策連絡会は、住民の安全安心を保障する上で重要な役割を果たすべきであり、府として対策連絡会が十分機能するよう積極的な役割を果たすこと。議事録の公開が行われるようになりましたが、米軍がどのような姿勢で問題に対処しているのか全く不明であり、米軍司令官の主要な発言を掲載するようにすること。また、宇川地区では一昨年4月以降、住民全体への説明会が開かれていません。春から第二期工事がはじまるのをはじめ、安全安心対策連絡会の協議した内容について、説明会を適

宜開催し、住民の意見・要望を直接聞くようにすること。

- 2、 基地の騒音は、この間の防音シートのかさ上げ、レーダーテントの改良工事によって削減されてきましたが、九品寺ではあいかわらずの騒音であり、商用電力供給へすみやかに対処すること。また、第二回安全・安心連絡会で表明されていた「防音ハウス」の設置は、その後、中止となったのかどうか明らかにされたい。
- 3、 ドクターヘリの運航とレーダーの停波に関する公開問題に関して、京都府は防衛局に抗議されました。防衛省が秘密とすることを府側に求めたのは何を根拠としていたのか明らかにすること。また、ドクターヘリの運航に関する停波要請で、直接米軍との連絡が取れず、航空自衛隊を通じて行われた事例があったのかどうか明らかにされたい。
- 4、 軍属の住居に関して、網野町島津での住民意向調査結果を発表すべきであり、京丹後市と必要な協議をすること。

軍属の住居に関して安全安心対策連絡会では、網野町島津の住居確保によって、「大多数の軍属の住居地が確保される見通しとなったが、他方で約30名が個別に居住している状況もあり、引き続き集合住宅の確保にとりくむ」（第4回概要）とあります。このことに関して、以下の諸点を明らかにしていただきたい。①網野町島津に入るのは68名とされていますが、シェネガ社全員となるのか明らかにすること。②集合住宅に入れないとしている約30名の所属と、今後、居住地を具体的にどのようにするのか明らかにすること。

なお、集団での通勤体制を維持するよう求めること。さらに、米軍関係者のYナンバー車は何台となるのか明らかにすること

- 5、 交通事故に関して、日本での免許取得に準じた技能・法令講習と検定のパスを求め、それに達しない米軍関係者には運転許可を与えないよう米軍に求めること。また、日本国内での運転について法令遵守をするようあらためて米軍に求めること。なお、昨年1月に発生した米軍関係者によるスピード違反が、なぜ不起訴となったのか、また、京都府はどのような対応をされたのか明らかにしていただきたい。また、最近発生した人身事故に関し、加害者の刑事処分、行政処分はどのようなになるのか明らかにしていただきたい。
- 6、 米軍基地に関して貴職が防衛省に求めてきた諸点が解決したのか、進行状況を明らかにすること。また、今後も起きうる諸問題を正確に把握し対処できるよう、京都府が関係機関と連携し体制をとること。

以上